

木原四郎の

# 水利を歩く

新潟市在住のイラストレーター  
木原四郎さんが1年をとおして、  
新潟農業を支える水の流れを訪ね歩き、  
風景や人とのふれあいを描きました。

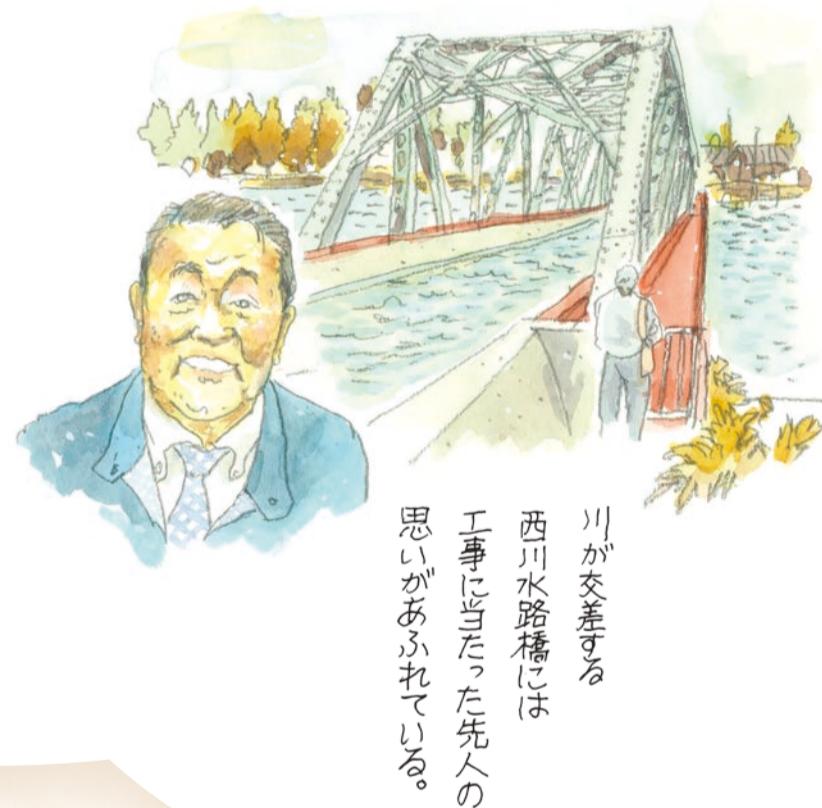
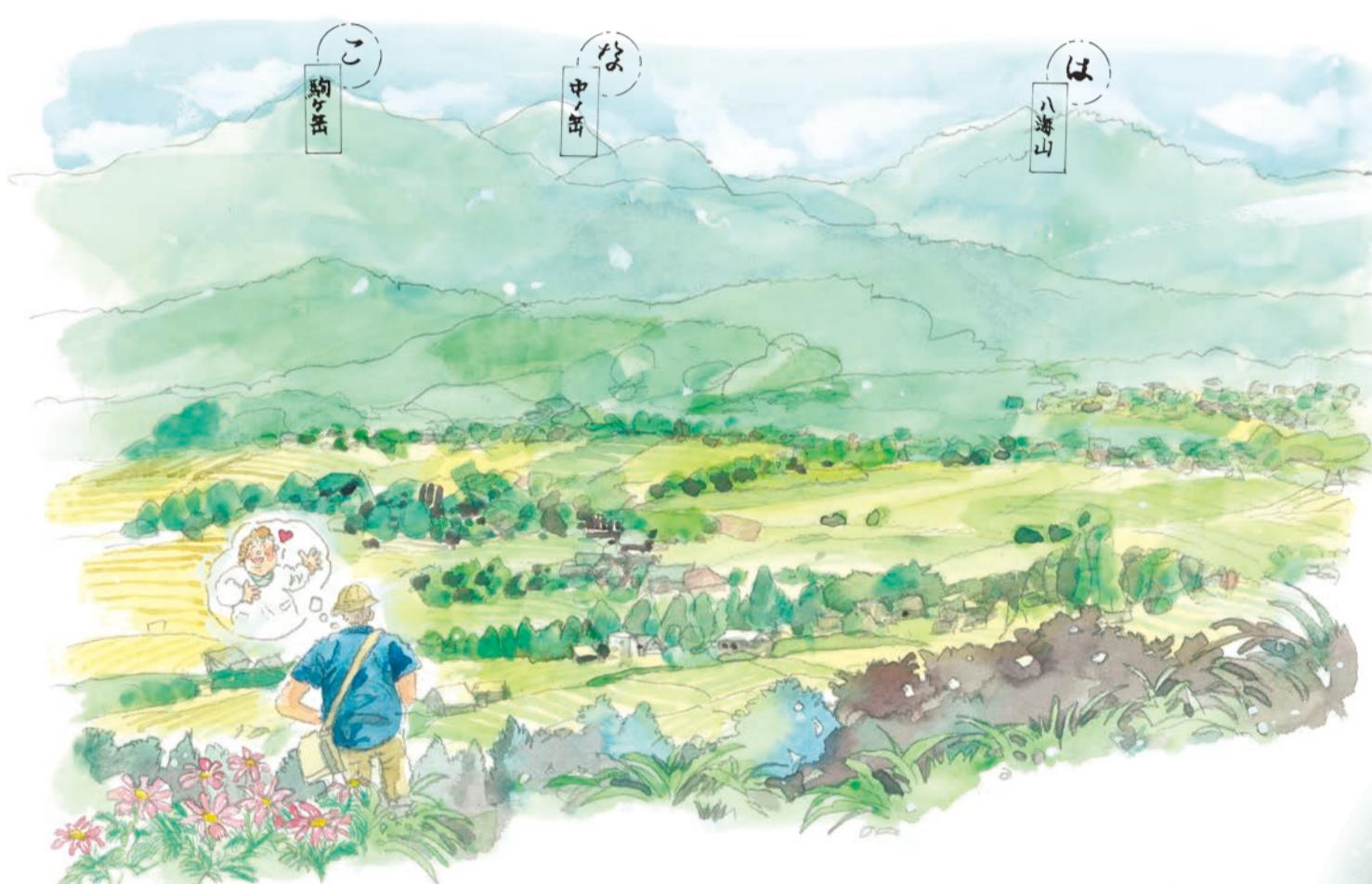
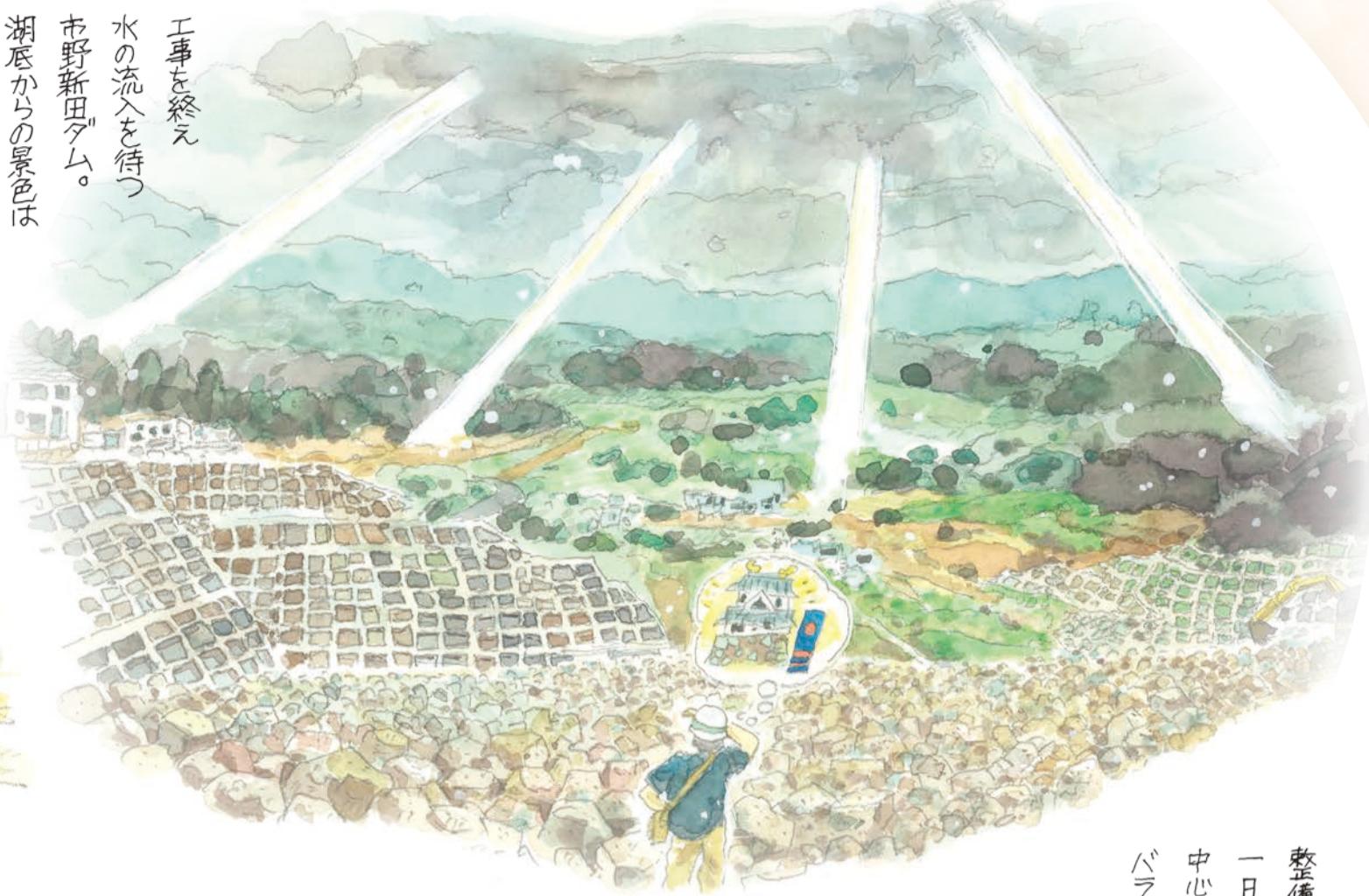
新川河口排水機場に流れ  
水面には様々な沿岸の歴史が  
映されていきょうだ。

山間から河川へ…

水の流れのように  
田畠をうるおす。

そして、  
豊饒なる大地に…。

水利を歩く二年目の旅  
自然への畏敬の念  
忘るべからず。



掲載された紙面は  
ご覧いただけます



PROFILE  
1946年、佐賀県佐賀市出身。  
「旅するイラストレーター」として新潟県内を歩き、風景や人物を描き続ける。独特の柔らかいタッチのイラストと心温まる文章で人とモノとの出会いを紹介し、人気を集め。NHK総合「金曜夜ぎらっと新潟」に出演。各地で展覧会を開催する。



この紙面を読んだご感想を、ハガキ、ファクス、Eメールでお寄せください。



「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン事務局 (新潟日報社広告部内)

新潟市中央区万代3-1-1 ●TEL 025-385-7474 (土日祝日を除く/10:00~17:00) ●ファックス 025-385-7476 ●Eメール minori@niigata-nippo.co.jp

○主催/農林水産省北陸農政局 ○共催/新潟日報社 ○後援/新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟 | 企画・制作/新潟日報社広告局

過去の紙面もご覧いただけます

キャンペーン特設サイト 水利が拓く実りの明日へ





「水利が拓く実りの明日へ」  
キャンペーン

# 2018年度総括シンポジウム&ミニマルシェ 水利がつなぐ農業の未来



《講師》スノーアイズファーム㈱ 代表取締役  
佐藤 可奈子さん

## 基調講演 移住女子の実践 雪国・里山から 食と農発信

プロフィール  
1987年、高松市出身。2011年、立教大学卒業を機に十日町市立農業落合に移住する。コシヒカリやサツマイモを栽培する一方、商品やwebマガジンなどを通じ、地域の学びや魅力を発信する。17年に「女性のチャレンジ賞」を受賞。新潟日報朝刊で「きょううしゅうらく」を連載中。

田んぼ潤す雪解け水  
先人への感謝尽きず

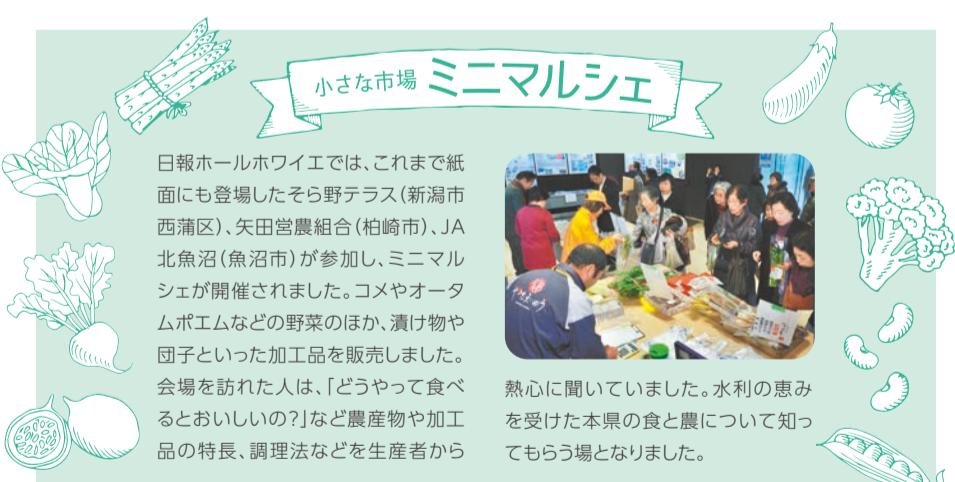
私が耕作している十日町市の集落は山ないので、田んぼは雪解け水が頼り。雪が解けて水になり、その水を引く水路の手入れをするところから農業が始まります。雪解け水が田んぼを順番に回っていくので、その流れを把握するのは一苦労。「水のバトン」を次の田んぼへきちんと渡していくのは大変です。そのため、集落の田んぼ全てに水が流れれるよう先人が築いてくれたことに感謝します。移住して、祈り、感謝する時間がとても増えました。

移住して結婚し、子どもができ、環境が激変しました。たが、もう一度つなぎ直すためにさまざまな取り組みを行っています。



男性・団体職員

● 参加者の声  
農業と土地改良事業の関わりはすごく重要な感じました。この機会に感謝しました。この機会に多くは「一つ必要」というアプローチのことわざです。農作業たのは「子ども一人育てるに必要なもの」を買うことができました。このような機会が増えてほしいです。(40代)



プロフィール  
1944年、新潟市生まれ。67年、新潟大学農学部卒。専門は農業経営学。同大教授、副学長などを経て2010年に退職。15年3月まで放送大学新潟開設センター所長、12年から5年間、県内の先進的農業経営者を講師に招き、実践的経営論を議論する「新潟農業経営塾」を主宰。現在、新潟市農業活性化研究センター名誉所長として新潟農業の課題などを問題提起している。

この紙面を読んだご感想を、ハガキ、ファクス、Eメールでお寄せください。

過去の紙面もご覧いただけます  
キャンペーン特設サイト [www.niigata-nippo.co.jp/campaign/](http://www.niigata-nippo.co.jp/campaign/)

TEL 025-385-7474 (土日祝日を除く/10:00~17:00) ● フax 025-385-7476 ● Eメール minori@niigata-nippo.co.jp  
○主催/農林水産省北陸農政局 ○共催/新潟日報社 ○後援/新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟 | 企画・制作/新潟日報社広告局



## パネルディスカッション

### 地域農業を支える水利の力 ～生産・土地改良の現場から～

●出演者 ..... 坂本 淳さん (やぶかみなす生産組合長)  
山波 剛さん (有限会社山波農場代表取締役)  
加藤 達男さん (本町そ菜出荷組合長)  
織方 和之さん (新潟県農地部長)  
●コーディネーター ..... 伊藤 忠雄さん (新潟大学名誉教授)



深雪なすは手で搾ると水が滴り落ちるほどみずみずしさと皮の柔らかさが特長です。それはうねの間に十分な水を溜めて栽培します。特に夏場は一気に水を入れないとお湯になってしまいます。そのため豊富な水がないと品質を保つことができません。現在は根から必要なだけ水を吸わせる根下灌漑(かんがい)方式に転換しつつあります。蒸

やぶかみなす生産組合長  
坂本 淳さん



より楽になり、品質向上と販売に力を注ぐことができます。組合は40代の私が最年少で、次世代を担う農者の確保が課題。地域の子どもたちの体験、食育支援に力を入れ、児童の小学校と連携して全学年がニンジンやジャガイモを育て、学校給食で使うという取り組みを行っています。

もとまちきゅううりの取り組みが当社の重要な役割と認識しています。

田んぼは湧き水のみで慢性的に水不足です。集落から1人ずつ代表を出し、代表しかし水路に触れない決まりを作り、水争いを避けたまま。(2020年度に供用予定)市野新田ダムが活用できれば、昨年のような干ばつ被害があつても安心してコメを消費者に届けることができます。

が大幅に減りました。大変ありがとうございました。が暮らすところです。自分が暮らす元の小学校と連携して全学年がニンジンやジャガイモを育て、学校給食で使うという取り組みを行っています。

もとまちきゅううりの取り組みが当社の重要な役割と認識しています。

田んぼは湧き水のみで慢性的に水不足です。集落から1人ずつ代表を出し、代表しかし水路に触れない決まりを作り、水争いを避けたまま。(2020年度に供用予定)市野新田ダムが活用できれば、昨年のような干ばつ被害があつても安心してコメを消費者に届けることができます。

が大幅に減りました。大変ありがとうございました。が暮らすところです。自分が暮らす元の小学校と連携して全学年がニンジンやジャガイモを育て、学校給食で使うという取り組みを行っています。

もとまちきゅううりの取り組みが当社の重要な役割と認識しています。

田んぼは湧き水のみで慢性的に水不足です。集落から1人ずつ代表を出し、代表しかし水路に触れない決まりを作り、水争いを避けたまま。(2020年度に供用予定)市野新田ダムが活用できれば、昨年のような干ばつ被害があつても安心してコメを消費者に届けることができます。

もとまちきゅううりの取り組みが当社の重要な役割と認識しています。

田んぼは湧き水のみで慢性的に水不足です。集落から1人ずつ代表を出し、代表しかし水路に触れない決まりを作り、水争いを避けたまま。(20